

## Dell™ OpenManage™ ソフトウェア クイックインストールガイド

- [Dell システムを最大限に活用する](#)
- [Dell OpenManage Systems Management Software キット](#)
- [CD の内容](#)
- [サブスクリプションサービスキットの内容](#)
- [Systems Management Software の概要](#)
- [Dell Systems Build and Update Utility を使ってオペレーティングシステムをインストールする](#)
- [管理下システムへの Systems Management Software のインストール](#)
- [管理ステーションへの Systems Management Software のインストール](#)
- [ドライバおよびユーティリティのアップデート](#)
- [セキュリティパッチとホットフィックス](#)
- [テクニカルサポートのご利用について](#)


『Dell OpenManage Software クイックインストールガイド』は、CD（英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、日本語、簡体字中国語版）でご利用いただけます。

- 『Dell Systems Build and Update Utility CD』
- 『Dell Systems Console and Agent CD』
- 『Dell Systems Service and Diagnostics Tools CD』
- 『Dell Systems Documentation CD』

## Dell システムを最大限に活用する

システムをすぐに起動するには、付属の CD をお使いください。一貫性と信頼性のある結果が得られ、問題のない運用が実現できます。この CD は次の機能を提供しています。

- 効率的なオペレーティングシステムのインストール - わかりやすい手順の説明に従うことで、Microsoft® Windows®、Red Hat® Enterprise Linux®、および SUSE® Linux Enterprise Server オペレーティングシステムのインストール時間が短縮されます。
- セットアップと設定 - Dell™ システムとソフトウェアのセットアップと設定に必要なツールを提供します。これらのツールは、Dell 提供の RAID コントローラとネットワークアダプタを自動検出して設定します。
- ユーティリティ、ドライバ、診断 - Dell ソフトウェアのドライバと診断ディスクの作成や表示ができます。
- **Systems Management** - Dell OpenManage™ ソフトウェアアプリケーションをインストールして、システムの信頼性と可用性を最大化します。これらのアプリケーションは、システムをリモートでモニタ、診断、アップデートするために必要なツールを提供します。
- マニュアル - 使用可能なシステム、Systems Management Software、RAID コントローラ、周辺機器などのマニュアルに、対応言語で簡単にアクセスできます。

 **注：** Red Hat Enterprise Linux または SUSE Linux Enterprise Server オペレーティングシステムを実行しているシステムでマニュアルを表示するには、『Dell Systems Documentation CD』の該当言語ディレクトリから **index.htm** を起動してください。

[トップに戻る](#)

## Dell OpenManage Systems Management Software キット

Dell OpenManage Systems Management Software キットには CD が 4 枚含まれています。CD の内容は以下に説明します。

### CD の内容

Systems Management Software キットには以下の CD があります。

- 『Dell Systems Build and Update Utility CD』は、Dell システムを設定して導入し、オペレーティングシステムをインストールするために必要なツールを提供するブータブル CD です。
- 『Dell Systems Console and Agent CD』には、Dell OpenManage Server Administrator など Systems Management Software 製品が入っています。また、Dell OpenManage IT Assistant、Dell Remote Access Controller ツール、ベースボード管理コントローラ Management Utility Console (BMC ユーティリティ)、Active Directory スナップインユーティリティなど、最新の Dell Systems Management Console 製品もすべて含まれています。
- 『Dell Systems Service and Diagnostics Tools CD』には、システムの設定に必要なツールと最新の診断および Dell 用に最適化されたドライバが入っています。
- 『Dell Systems Documentation CD』には、システム、Systems Management Software 製品、周辺機器、RAID コントローラの最新マニュアルが入っています。

## サブスクリプションサービスキットの内容

Dell OpenManage Systems Management Software キットは、サブスクリプションサービスキットとして入手していただけます。サブスクリプションサービスキットには、Dell Systems Management Software キットが DVD 形式で含まれています。サブスクリプションサービスキットには、『Dell Server Updates DVD』も含まれています。『Dell Service Updates DVD』は、サブスクリプションサービスキットにのみ含まれており、Dell OpenManage Server Update Utility (SUU) および Dell Update Packages (DUP) 用ソフトウェアの最新バージョンが入っています。

『Dell Systems Documentation CD』以外のすべての CD と DVD には、最新の製品情報を記載した readme ファイルが含まれていません。


システムアクセサリボックスの内容を、システムに添付されている梱包内容明細書または請求書と照らし合わせてください。コンポーネントに不足や損傷があった場合は、請求書の日付から 30 日以内にデルまでお電話いただくと無償で交換いたします。詳細は、「[テクニカルサポートのご利用について](#)」を参照してください。

## Systems Management Software の概要

Dell OpenManage Systems Management ソフトウェアは、Dell システム向けアプリケーションプログラムのスイートです。このソフトウェアを使用すると、予防的監視、通知、リモートアクセスなどの機能を使ってシステムを管理できます。

Dell OpenManage ソフトウェア製品を使って管理する対象となる各システムは、「管理下システム」と呼ばれます。管理下システム用アプリケーションには、Server Administrator と Remote Access Controller (RAC) ソフトウェアがあります。

「管理ステーション」を使うと、中央から 1 台または複数台の「管理下システム」をリモートで管理できます。

 注：Dell OpenManage Management Station Software (Array Manager コンソールをインストール済み) が検出された場合、Dell OpenManage Array Manager Console (管理ステーション用) は、Windows でのみ使用可能です。アップグレード用にはのみ使用できます。

[表 1-1](#) Dell OpenManage スイート製品について説明します。

表 1-1. Dell OpenManage Systems Management Software アプリケーション

機能	ソフトウェア製品	CD	説明
サーバーのセットアップとオペレーティングシステムのインストール	Dell Systems Build and Update Utility	<ul style="list-style-type: none"> <li>『Dell Systems Build and Update Utility CD』</li> </ul>	<p>このユーティリティは次の機能を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>RAID コントローラとネットワークインタフェースを含むシステム設定手順</li> <li>Windows、Red Hat Enterprise Linux、SUSE Linux Enterprise Server オペレーティングシステムのインストールサポート</li> <li>Dell システム用の Dell 最適化デバイスドライバ</li> </ul>
ローカルシステムの管理 (RAID の設定および管理を含む)	Server Administrator	<ul style="list-style-type: none"> <li>『Dell Systems Console and Agent CD』</li> </ul>	個々の Dell システムを一貫した方法で総合的にモニタ、設定、管理する Dell システム用の管理ソリューションです。

む)			<p>Server Administrator は次の機能を提供していません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• セキュリティ管理</li> <li>• コマンドラインインタフェース (CLI)</li> <li>• 広範囲のログ収集</li> <li>• ホストベース RAID サブシステムの設定と状態のレビューとレポート</li> <li>• ユーザーインタフェースに表示されたエラーとパフォーマンス詳細情報への迅速なアクセス</li> <li>• ローカルシステムのリモート管理をローカルで管理およびサポート</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>• システムにローカルに取り付けられた RAID および 非 RAID ディスクストレージの設定機能の強化</li> <li>• 統合グラフィカル表示によるストレージ管理情報</li> <li>• 監視下システムに接続しているローカルおよびリモートのストレージの状態</li> <li>• SAS、SCSI、SATA、ATA のサポート (ファイバチャネルを除く)</li> <li>• コントローラ BIOS ユーティリティを使用せずに 1 つのグラフィカルインタフェースまたは CLI によって、対応するすべての RAID / 非 RAID のコントローラとエンクロージャに向けて コントローラとエンクロージャの機能を実行する機能</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>• データ冗長性の設定、ホットスペアの割り当て、故障したドライブの再構成によってデータを保護する機能</li> </ul>
ローカルおよびリモートのシステム管理	<p>RAC (iDRAC、DRAC 5、DRAC 4、DRAC III、DRAC III/XT、DRAC/MC、ERA、ERA/O、ERA/MC)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Dell Systems Console and Agent CD』</li> </ul>	<p>これらのハードウェアおよびソフトウェア ソリューションは、次の機能を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Dell システム全体の可用性を向上させる</li> <li>• 作動不能システムにリモートアクセスを提供して、ローカルコンソールの完全制御を可能にする</li> </ul> <p>監視下システムのリモート管理 (BIOS 設定、シャットダウン、起動、RAC セキュリティを含む)</p>
状態と報告	IT Assistant	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Dell Systems Console and Agent CD』</li> </ul>	<p>Systems Management Console プログラム。通常 1 台の管理ステーションにインストールされ、すべての管理下システムの情報の収集や一覧表示を行います。IT Assistant は次の機能を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスク、メモリ、電圧、ファン、温度状態のイベントを、電子メール、コンソール警告などでシステム管理者に通知するエラー監視機能</li> <li>• サービスタグ番号、所有コスト情報、BIOS、マイクロプロセッサ、メモリの詳細などのインベントリと資産の報告</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>• Server Administrator、Remote Access コンソール、Dell PowerConnect™ スイッチコンソール、デジタル KVM コンソール、プリンタコンソールなどのツールをデバイスの必要に応じて起動する機能</li> </ul>
リモート管理	RAC ユーティリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Dell Systems Console and Agent CD』</li> </ul>	<p>このソフトウェアソリューションは、次の機能を実行します。</p>

		Agent CD』	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 総合的な Dell システムの可用性を向上させる</li> <li>• 作動不能システムにリモートアクセスを提供して、ローカルコンソールの完全制御を可能にする</li> <li>• 監視下システムのリモート管理（BIOS 設定、シャットダウン、起動、RAC セキュリティを含む）</li> </ul>
	BMC 管理ユーティリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Dell Systems Console and Agent CD』</li> </ul>	IPMI プロトコルを使って、ベースボード管理コントローラ（BMC）搭載コンピュータのリモート管理と設定を行うユーティリティ。
Dell 専用 Microsoft Active Directory® オブジェクトの管理	Active Directory スナップインユーティリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Dell Systems Console and Agent CD』</li> </ul>	<p>Microsoft Active Directory に拡張スナップインを提供。これによって Dell 専用 Active Directory オブジェクトの管理が可能になります。Dell 専用のスキーマクラス定義およびそのインストールも、この CD に含まれています。</p> <p>Dell 専用のスキーマクラスが Active Directory スキーマに追加されているときにこのオプションを使用できます。</p>
システムをアップデートするためのドライバの識別とインストール	システムソフトウェア抽出ユーティリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Dell Systems Service and Diagnostics Tools CD』</li> </ul>	最新の Dell 最適化ドライバ、ユーティリティ、オペレーティングシステムベースの診断を提供します。
Dell システムの正常性を診断します。	Dell オンライン診断	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Dell Systems Service and Diagnostics Tools CD』</li> </ul>	Dell システムの正常性を監視、診断するオペレーティングシステムベースの診断を実行します。
ソフトウェアアップデート	SUU および DUP	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Dell Server Updates DVD』この DVD はサブスクリプションサービスキットでのみ配布されます。</li> </ul>	SUU および DUP を介してシステムの最新バージョンのドライバ、ファームウェア、ソフトウェアを提供します。

[トップに戻る](#)

## Dell Systems Build and Update Utility を使ってオペレーティングシステムをインストールする

オペレーティングシステムがインストール済みかどうかの確認は次の手順で行います。

□□□ キーボード、マウス、モニタの接続を確認してから、システムの電源を入れます。

□□□ ソフトウェア使用許諾契約書を読み、その内容を承諾して処理を続けます。

ブータブルドライブがない、またはオペレーティングシステムが見つからない旨のメッセージが表示された場合、そのシステムにはオペレーティングシステムがインストールされていません。『オペレーティングシステム CD』を用意して、次の手順に進みます。

オペレーティングシステムがインストール済みの場合、この処理を続ける必要はありません。システムに同梱のオペレーティングシステム インストールマニュアルを見つけて、それに従ってインストール作業を実行します。

次の手順でシステムにオペレーティングシステムをインストールします。

□□□ 『Dell Systems Build and Update Utility CD』を挿入して、システムを再起動します。

システムの起動中には以下のオプションが利用可能です。

- **Dell Systems Build and Update Utility**

CDから起動します。

- 最適メディア (CD/DVD) チェック

CD が正しく作成されており、内容が正しいことを確認します。


- 最適メディア (CD/DVD) の起動をスキップして、ハードドライブから起動する

ハードドライブから起動して、オペレーティングシステムがインストールされているか調べます。オペレーティングシステムがインストールされていない場合は、CD から起動します。

 注： 10 秒以内にオプションを選択しないと、自動的に CD から起動します。

- **DTK コマンドラインインタフェース (Linux)**


Dell OpenManage Deployment Toolkit のコマンドラインインタフェースを起動します。

 注： このオプションは Linux システムでのみ使用可能です。


□□□ **Systems Software Manager** のメインページで サーバー **OS** のインストール を選択します。

□□□ 表示される手順に従って、ハードウェアの設定とオペレーティングシステムのインストールを行います。

RAID のインストールの詳細については、『Dell System Documentation CD』の「RAID 入門」を参照してください。

 注： Dell Systems Build and Update Utility を使って対応オペレーティングシステムをインストールするとき、Dell Systems Build and Update Utility は自動的に該当する Systems Management Software インストールファイルをシステムのハードドライブにコピーして、**Server Administrator** のインストール と **Server Administrator** インストールファイルの削除 アイコンをデスクトップに置きます。これらのアイコンは、Windows 2000, Windows 2003、Red Hat Enterprise Linux オペレーティングシステムでのみ表示されます。これらのアイコンは、Windows Server® 2008 と SUSE Linux Enterprise Server オペレーティングシステムでは使用できません。

 注： **Server Administrator** のインストール アイコンを使うと、インストール CD なしで Server Administrator をインストールできます。対応する Windows オペレーティングシステムを実行しているシステムでは、このアイコンをクリックすると、標準のインストールインタフェースが表示されます。対応する Red Hat Enterprise Linux または SUSE Linux Enterprise Server のオペレーティングシステムを実行しているシステムで、このアイコンをクリックすると、Server Administrator のカスタムインストールスクリプトが実行されます。Server Administrator をインストールしない場合は、**Server Administrator** インストールファイルの削除 アイコンをクリックすると、インストールファイルを削除できます。確認のダイアログで続行することを選択すると、アイコンを含め、Server Administrator のすべてのファイルが削除されます。これらのアイコンは、Windows Server 2008 と SUSE Linux Enterprise Server オペレーティングシステムでは使用できません。

 注： Windows オペレーティングシステムをインストールした後、4 GB を超える物理メモリを持つハードウェアの設定にはインストールしたすべてのメモリを完全に使用するための追加のステップが必要になる場合があります。物理アドレス拡張 (PAE) の詳細については、次を参照してください。

- [www.microsoft.com/windows2000/en/advanced/help/PAE\\_checklist.htm](http://www.microsoft.com/windows2000/en/advanced/help/PAE_checklist.htm)
- [www.microsoft.com/resources/documentation/windowsserv/2003/enterprise/proddocs/en-us/paex86\\_2.asp](http://www.microsoft.com/resources/documentation/windowsserv/2003/enterprise/proddocs/en-us/paex86_2.asp)
- [www.support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;en-us;283037](http://www.support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;en-us;283037)

[トップに戻る](#)

---

## 管理下システムへの **Systems Management Software** のインストール

セットアッププログラムでは、標準セットアップ および カスタムセットアップ の両オプションが提供されます。標準セットアップ オプ

ション（推奨）では、システム管理に必要と検知されたソフトウェアコンポーネントがすべて自動的にインストールされます。カスタムセットアップ オプションでは、インストールするソフトウェアコンポーネントを自由に選択できます。このマニュアルの手順は 標準セットアップ オプションに基づいています。カスタムセットアップ の詳細については、『Dell OpenManage インストールとセキュリティ ユーザーズガイド』を参照してください。

➡ **注意：** Dell OpenManage Array Manager はサポートされなくなりました。Array Manager をインストールした状態でシステム（Dell OpenManage バージョン 4.3 以降をインストール済み）をアップグレードすると、アップグレード進行中に Array Manager が削除されます。Server Administrator Storage Management Service を代わりに使用することができます。

🔧 **注：** カスタムインストールおよびその他の詳細については、『インストールとセキュリティユーザーズガイド』を参照してください。Management Station Software とManaged System Software は、同一または異なるディレクトリにインストールすることができます。インストール先のディレクトリは選択可能です。

🔧 **注：** 現在対応しているシステムのリストについては、『Dell Systems Documentation CD』またはデルのサポートウェブサイト [support.dell.com](http://support.dell.com) にある最新の「Dell ソフトウェア対応マトリックス」を参照してください。

🔧 **注：** システムに Systems Management Software の 4.2 またはそれ以前のバージョン (>=3.0) がインストールされている場合、直接 5.3 バージョンにアップグレードできません。以前の設定を維持するためには、まず 4.3 バージョンにアップグレードしてから 5.3 バージョンにアップグレードして、最新のソフトウェアにアップデートします。バージョン 4.3 は、デルのサポートウェブサイト [support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com) で入手できます。

🔧 **注：** 管理下システムに Managed System Software をインストールする前に、オペレーティングシステムのメディアを使って SNMP エージェントをインストールします。

## 対応 Microsoft Windows オペレーティングシステムへの Managed System Software のインストール

□□□ 管理下システムのコンポーネントをインストールするシステムに管理者権限でログインします。対応 Windows オペレーティングシステムを実行しているシステムでなければなりません。

□□□ システムに対応ブラウザがインストールされていることを確認します。

□□□ RAID コントローラがインストールされているシステム にストレージ管理機能をインストールする場合は、各 RAID コントローラ用にデバイスドライバがインストールされていることを確認してください。

デバイスドライバは『Dell Systems Service and Diagnostics Tools CD』にあります。デバイスドライバを確認するには、Windows でマイ コンピュータ を右クリックし、管理 を選択して デバイス マネージャ をクリックします。

□□□ 『Dell Systems Console and Agent CD』を CD ドライブに 挿入します。

自動的にセットアッププログラムが起動します。起動しない場合は、スタート ボタン、ファイル名を指定して実行 の順にクリックし、x:\setup.exe と入力します（x は CD ドライブのドライブ文字）。

Dell OpenManage インストール オートランメニューが表示されます。

□□□ Dell OpenManage Server Administrator オプションを選択 して、インストール をクリックします。

Dell OpenManage Server Administrator 必要条件状態画面が表示され、管理下システムの必要条件の検査を行います。該当する情報、警告、エラーメッセージがあれば表示されます。エラー状態と警告状態をすべて解決します。

□□□ インストール、変更、修正、または Server Administrator の削除 ボタンをクリックします。

□□□ ようこそ 画面の次へ をクリックします。

□□□ 使用許諾契約に同意して 次へ をクリックします。

□□□ 標準設定 を選択して 次へ をクリックします。

□□□□ インストール をクリックして インストール プロセスを 続行します。

セットアッププログラムによって、ハードウェアにすべてのManaged System Software が自動的にインストールされます。


□□□□ インストールが完了したら、終了 をクリックし、指示が 表示された場合はソフトウェアを使用する前にシステム を再起動してください。

## 対応 Red Hat Enterprise Linux オペレーティングシステムまたは SUSE Linux Enterprise Server オペレーティングシステムへの Managed System Software のインストール

□□□ 管理下システムのコンポーネントをインストールするシステムに root としてログオンします。対応 Red Hat Enterprise Linux または SUSE Linux Enterprise Server オペレーティングシステムを実行しているシステムでなければなりません。

□□□ 『Dell Systems Console and Agent CD』を CD ドライブに挿入します。

□□□ 必要であれば、mount コマンドまたは同等のコマンドを使って CD を希望の場所にマウントします。

 **注：** Red Hat Enterprise Linux 5 オペレーティングシステムでは、CD は `-noexec` マウントオプションで自動的にマウントされます。このオプションでは、CD から実行ファイルを実行できません。手動で CD-ROM をマウントしてから、実行ファイルを実行してください。


□□□ CD を使用する場合、マウント場所から `srvadmin/linux/supportscripts` ディレクトリに移動します。次のように `srvadmin-install.sh` スクリプトを実行します。

```
sh srvadmin-install.sh --express
```

または

```
sh srvadmin-install.sh -x
```

このスクリプトにより、システム構成に対応した標準ソフトウェアスイートがインストールされます。

 **注：** RPM インストールの出力をログするには、上記の実行シェルスクリプトに `2>&1 | tee -a /var/log/srvadmin.log` を追加します。その結果、コマンドは `sh srvadmin-install.sh 2>&1|tee -a /var/log/srvadmin.log` となります。

□□□ `sh srvadmin-services.sh start` コマンドで Server Administrator サービスを開始します。

### VMware ESX Server Software での Dell OpenManage の使用

Dell OpenManage を VMware® ESX Server™ ソフトウェアと一緒にインストールするには、特別の手順が必要になります。この特別手順は Dell OpenManage のバージョンと ESX Server のバージョンによって異なり、サポートされるのは両バージョンの限られた組み合わせに限ります。詳細は、[www.dell.com/vmware](http://www.dell.com/vmware) のリソースセンターにある『システム 互換性ガイド』と『VMware ESX Server 導入ガイド』を参照してください。Dell OpenManage の対応バージョンをインストールする手順は、『ESX Server 導入ガイド』を参照してください。

[トップに戻る](#)


---

## 管理ステーションへの Systems Management Software のインストール


標準インストールでは、IT Assistant、DRAC ツール、BMC がインストールされます。ソフトウェアコンポーネントを選択してインストールする場合、または Active Directory スナップインユーティリティなどの機能をインストールする場合は、『インストールとセキュリティ ユーザーズガイド』の「カスタムインストール」の項を参照してください。


管理ステーションアプリケーションを実行できる Dell システムと対応オペレーティングシステムの一覧は、『Dell Systems Documentation CD』またはデルのサポートウェブサイト [support.dell.com](http://support.dell.com) にある「Dell ソフトウェア対応マトリックス」を参照してください。


 **注：** Management Station Software と Managed System Software は、同一のディレクトリにも異なるディレクトリにもインストールすることができます。インストール先のディレクトリは選択可能です。

 **注：** Red Hat Enterprise Linux オペレーティングシステムおよび SUSE Linux Enterprise Server オペレーティングシステムでは、DRAC ツール および BMC 管理ユーティリティのみが対応しています。

## Microsoft Windows オペレーティングシステムへの Management Station Software のインストール

 注： IT Assistant は、Windows Server 2003 Standard と Windows Server 2003 Enterprise Edition の x64 エディションには対応していません。

 注： IT Assistant のインストールは、バージョン 4.3 以前の Systems Management Software を搭載したシステムではサポートされていません。システムに Systems Management Software の 4.2 またはそれ以前のバージョン (>=3.0) がインストールされている場合、直接 5.3 バージョンにアップグレードすることはできません。現在の設定を維持したままで最新のソフトウェアにアップデートするためには、まず 4.3 バージョンにアップグレードしてから 5.3 バージョンにアップグレードしてください。バージョン 4.3 は、デルの サポートウェブサイト [support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com) で入手できます。

 注： 対応するデータベースがシステムにない場合、IT Assistant 8.x 以降を新しくインストールしようとする、Microsoft SQL Server 2005 Express Edition をインストールするように指示されます。SQL Server 2005 Express Edition は、Management Station Software をインストールする前に『Dell Systems Console and Agent CD』を使ってインストールできます。ただし、Microsoft SQL Server 2000 Desktop Engine (MSDE 2000) または SQL Server 2000 システムにすでにインストールされている場合は、IT Assistant はこれらのいずれかと連動します。IT Assistant 7.x から 8.x 以降にアップグレードする場合は、既存の MSDE 2000 または SQL Server 2000 を使用することができます。詳細は、『IT Assistant ユーザーズガイド』を参照してください。

管理ステーションにアプリケーションをインストールするには、次の手順を実行してください。

□□□ Management Station Software アプリケーション をインストールする先の Windows システムにシステム管理者の権限でログオンします。


□□□ 『Dell Systems Console and Agent CD』を CD ドライブに挿入します。

自動的にセットアッププログラムが起動します。起動しない場合は、スタート ボタン、ファイル名を指定して実行 の順にクリックし、x:\setup.exe と入力します (x は CD ドライブのドライブ文字)。

**Dell OpenManage** インストール オートランメニューが表示されます。

□□□ **Dell OpenManage Management Station** オプションを選択して、インストール をクリックします。

**Dell OpenManage Management Station** 必要条件状態画面が表示されて、管理下システムの必要条件の検査を行います。該当する情報、警告、エラーメッセージがあれば表示されます。エラー状態と警告状態をすべて解決します。

 注： 対応するデータベースがない場合、必要条件チェッカーが SQL サーバー 2005 Express Edition をインストールするリンクを提供します。そのリンクをクリックしてデータベースをインストールします。データベースをインストールしないで続行すると、IT Assistant はインストールされません。

□□□ インストール、変更、修正、または **Management Station** の削除 ボタンをクリックします。

Microsoft Windows インストーラが起動し、ようこそ 画面が表示されます。

□□□ 次へ をクリックします。

使用許諾契約書 画面が表示されます。

□□□ 同意する を選択して 次へ をクリックします。

セットアップの種類 画面が表示されます。

□□□ 標準設定 を選択して 次へ をクリックします。

インストールの準備完了 画面が表示されます。

□□□ インストール をクリックして選択した機能を受け入れ、インストールを開始します。

**Dell OpenManage Management Station** のインストール 画面が表示されます。メッセージが開き、インストールしているソフトウェアコンポーネントの状態と進行状況が表示されます。

選択したコンポーネントがインストールされると、インストールウィザードの完了 ダイアログボックスが表示されます。

□□□ 終了 をクリックして **Dell OpenManage Management Station** のインストールを終了します。




## 対応 Red Hat Enterprise Linux オペレーティングシステムまたは SUSE Linux Enterprise Server オペレーティングシステムへの Managed System Software のインストール

Management Station Software スイートの BMC 管理ユーティリティ (BMU) および RAC コンポーネントは、対応 Red Hat Enterprise Linux または SUSE Linux Enterprise Server オペレーティングシステムを実行している管理ステーションで使用できます。

BMU を管理ステーションにインストールする場合、以下の手順でインストールプログラムを起動してください。

□□□ Management Station コンポーネントをインストールする システムに root としてログオンします。

□□□ 必要であれば、mount または同等なコマンドを使って希望する場所に『Dell Systems Console and Agent CD』をマウントしてください。

 **注：** Red Hat Enterprise Linux 5 オペレーティングシステムでは、CD は `-noexec` マウントオプションで自動的にマウントされます。このオプションでは、CD から実行ファイルを起動できません。手動で CD-ROM をマウントし、実行ファイルを起動してください。

□□□ マウント場所から `managementstation/linux/bmc` ディレクトリへナビゲートします。以下のオペレーティングシステム特有の RPM コマンドを使用して BMC ソフトウェアをインストールします。


- Red Hat Enterprise Linux を実行しているシステムの場合は、以下を使用します。  
`rpm -ivh osabmcutil*-RHEL-*.rpm`
- SUSE Linux Enterprise Server を実行しているシステムの場合は、以下を使用します。  
`rpm -ivh osabmcutil*-SUSE-*.rpm`

`ipmitool` BMC 管理ユーティリティをインストールするには、お使いのオペレーティングシステムに対応する `ManagementStation/linux/bmc/ipmitool` または `SYSMGMT/ManagementStation/linux/bmc/ipmitool` 下にあるオペレーティングシステムサブディレクトリへナビゲートし、`rpm -ivh *.rpm` コマンドを実行します。

RAC Management Station コンポーネントをインストールする場合、以下の手順でインストールプログラムを起動してください。

□□□ Management Station コンポーネントをインストールする システムに root としてログオンします。

□□□ 必要であれば、mount または同等なコマンドを使って希望する場所に『Dell Systems Console and Agent CD』をマウントしてください。

 **注：** Red Hat Enterprise Linux 5 オペレーティングシステムでは、CD は `-noexec` マウントオプションで自動的にマウントされます。このオプションでは、CD から実行ファイルを起動できません。手動で CD-ROM をマウントし、実行ファイルを起動してください。


□□□ マウントした場所から `managementstation/linux/rac` ディレクトリに移動し、`rpm -ivh *.rpm` コマンドを実行します。

[トップに戻る](#)

## ドライバおよびユーティリティのアップデート

『Dell Systems Service and Diagnostics Tools CD』には、システムのアップデートに使用するデバイスドライバとユーティリティが含まれています。ドライバやユーティリティを使用するには、まずディスクまたはシステムのハードドライブにコピーする必要があります。

ドライバ、および Dell OpenManage アプリケーションなどの最新のアップデートは、デルのサポートウェブサイト [support.dell.com](http://support.dell.com) からダウンロードしてください。

 **注：** 『Dell Systems Service and Diagnostics Tools CD』は Windows オペレーティングシステムを実行しているシステムでのみ実行できます。Red Hat Enterprise Linux または SUSE Linux Enterprise Server オペレーティングシステムを実行しているシステム用のドライバを抽出するには、Windows を実行しているシステムで『Dell Systems Service and Diagnostic Tools CD』を使用して、選択したファイルを最終的な送信先システムにコピーするか共有します。

□□□ Windows を実行しているシステムの CD ドライブに『Dell Systems Service and Diagnostics Tools CD』を挿入します。

自動的にセットアッププログラムが起動します。起動しない場合は、スタート ボタン、ファイル名を指定して実行の順にクリックし、`x:\setup.exe` と入力します (x は CD ドライブのドライブ文字)。

□□□ システムを選択し、ドライバ / ユーティリティのセット の選択 から、アップデートするファイルセットを選択して 続行 をクリックします。

□□□ ドライバおよびユーティリティ のページから、デバイス 名のリンクをクリックしてアップデートするユーティリ ティまたはドライバのファイルを選択します。

ファイルを保存する場所を入力するように指示されます。ファイルは圧縮フォーマットで配布されています。ファームウェアファイルの場合は通常、解凍用のディスクセット が必要です。

□□□ ファイルを解凍します。

ドライバおよび Dell OpenManage アプリケーションバージョンの詳細については、『Dell OpenManage Server Administrator 互換性ガイド』を参照してください。

『Dell Server Updates DVD』はサブスクリプションキットでのみ配布され、SUU と DUP を通してお使いのシステムに該当する最新バージョンのファームウェア、ドライバ、ソフトウェアを提供します。


□□□ Management Station Software アプリケーション をインストールする先の Windows システムにシステム管理者の権 限でログオンします。

□□□ Windows、Red Hat Enterprise Linux、または SUSE Linux Enterprise Server オペレーティングシステムを実行しているシステムの DVD ドライブに『Dell Server Updates DVD』を挿入します。

□□□ SUU が自動的に起動します。自動的に起動しない場合は、スタート ボタン、ファイル名を指定して実行の順に クリックし、`cmd` と入力して **<Enter>** を押してください。コマンドプロンプトが表示されたら、ディレクトリ を DVD ドライブのルートに変更します。`suu -g` (グラフィカルモード用) または `suu -h` (ヘルプオプション の表示用) を入力します。

 **注：** Red Hat Enterprise Linux または SUSE Linux Enterprise Server オペレーティングシステムでは、`-g` (グラフィカルモード) のオプションが使用できるのは X Window システムからのみです。


□□□ GUI の初期化に失敗した場合、OpenIPMI ドライバの最新バージョンをインストールしてください。`suu -g - installIPMI` を入力して、最新バージョンの OpenIPMI ドライバ をインストールします。

 **注：** Server Administrator の Server Administrator Instrumentation Service で IPMI ベースの情報と機能を提供するには、最小バージョンの OpenIPMI ドライバが必要です。必要な最小バージョンは、オペレーティングシステムによって異なります。詳細は、『インストールとセキュリティユーザーズガイド』を参照してください。

□□□ GUI でリポジトリとの比較を表示するには、左側にツリー表示されたシステムのホスト名をクリックします。SUU が、リポジトリにあるコンポーネントのバージョン とシステムにあるバージョンを比較します。システム上のコンポーネントバージョンが SUU リポジトリにある最新バージョンと同じ場合、緑色のチェックマークアイコンが表示されます。システム上のコンポーネントバージョンが 古く、SUU を使ってアップグレード可能な場合、緑色の上向き矢印アイコンが表示されます。アップデート可能なコンポーネントが見つかると、画面右上の アップデート ボタンが有効になります。

□□□ アップデート をクリックして、システム用にリストされているすべてのアップデートを適用します。適用する アップデートを個別に選択することはできません。リストにあるコンポーネントのアップデートを確認するダイアログボックスが表示されます。はい をクリックして続 続します。

□□□ SUU と DUP でのアップデートが正しく行われたことを知らせる アップデート成功 というウィンドウが表示さ れ、また再起動してアップデートを完了するように指示 するメッセージが表示されることがあります。

 **注：** SUU でアップデート をクリックすると、SUU はお使いのシステムに該当する DUP を選択して、自動的にインストールします。

詳細については、『Dell OpenManage Server Update Utility ユーザーズガイド』を参照してください。

[トップに戻る](#)

インストール完了後すぐに、お使いのオペレーションシステム用の最新セキュリティパッチ、ホットフィックス、サービス、サポートパックなどをダウンロードし、インストールすることをお勧めします。お使いのオペレーションシステム用のダウンロードは、[www.microsoft.com](http://www.microsoft.com)、[www.redhat.com](http://www.redhat.com)、または [www.novell.com](http://www.novell.com) から入手できます。

[トップに戻る](#)

---

## テクニカルサポートのご利用について

デルのテクニカルサポートにお問い合わせになる前に、デルのサポートウェブサイト [support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com) を参照してください。それ以上のテクニカルサポートが必要な場合は、システムに付属の『ハードウェアオーナーズマニュアル』の「困ったときは」の項で、国や地域別の電話、ファックス、インターネットでのデルへのお問い合わせ方法をご確認ください。

Antes de entrar em contato com a Dell para obter assistência técnica, consulte o site de suporte na Web: [support.dell.com](http://support.dell.com). Você precisará do número da sua etiqueta de serviço para identificação de seu equipamento. Caso necessite de suporte técnico adicional, é fornecida assistência técnica para hardware ao proprietário original do equipamento. Esse serviço está disponível de segunda a sexta-feira, das 7 às 19:00h, em português. Telefone: 0800-90-3355.

デルのエンタープライズトレーニングまたは資格プログラムについては、[www.dell.com/training](http://www.dell.com/training) を参照してください。このサービスは地域によっては提供されていない場合があります。

[トップに戻る](#)

---

このマニュアルに記載される内容は予告なしに変更される場合があります。

©2007 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. の書面による許可なしにはいかなる方法においても、このマニュアルの複写を禁じます。

このテキストで使用される商標： Dell、DELL ロゴ、OpenManage、PowerEdge、PowerVault、および PowerConnect は Dell Inc. の商標です。Microsoft Windows、Windows Server および Active Directory は Microsoft Corporation の登録商標です。Red Hat および Red Hat Enterprise Linux は Red Hat, Inc. の登録商標です。SUSE は 米国およびその他の国の Novell Inc. の登録商標です。VMware は VMware, Inc. の登録商標、および ESX Server は VMware, Inc. の商標です。

商標または製品の権利を主張する事業体を表すためにその他の商標および社名が使用されていることがあります。これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に所属するものではありません。

2007 年 8 月